

副産物情勢

4月12日 更新

J A 全農ミートフーズ株式会社

項目	内容	備考																								
内臓	<p>1.国産牛</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 2月の成牛と畜頭数は、83.9千頭(前年比101.3%)と前年を上回った。 内訳を見ると、和牛:38.9千頭(前年比108.0%)、交雑牛:19.8千頭(同100.8%)、乳牛去勢:10.4千頭(同96.8%)となった。 ○ 3月の成牛と畜頭数は、速報値(3月31日まで集計)で88.4千頭(前年比95.3%)と前年を下回る見込みとなった。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(3月27日公表)によると、3月の出荷頭数は、全品種で減少が見込まれることから、前年を下回ると予測する。 4月は、交雑種で減少するものの、和牛および乳用種で増加が見込まれることから、前年同月を上回ると予測する。 (3月 86.8千頭(前年比93.0%)、4月 96.4千頭(同102.8%))。 ○ 需給動向：赤物は消費者の節約志向は根強いものの、タン、ハラミ、ツラミ等の通年商材が需要を支え、底堅い展開が続いている。 白物は暖冬の影響により荷動きは昨年より悪かった。特に小腸、アキレス等の煮込み商材でその傾向は顕著であったが、依然一定の引き合いはある。 	<p>1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年4月1日</td> <td>35</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>令和3年4月26日</td> <td>25</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>令和3年10月18日</td> <td>35</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>令和4年2月7日</td> <td>25</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>令和4年4月4日</td> <td>35</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>令和4年8月8日</td> <td>45</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>※乳牛も同様45円/kg *豚正貫物</p>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和3年4月1日	35	7	令和3年4月26日	25	5	令和3年10月18日	35	7	令和4年2月7日	25	5	令和4年4月4日	35	7	令和4年8月8日	45	9			
	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																							
	令和3年4月1日	35	7																							
令和3年4月26日	25	5																								
令和3年10月18日	35	7																								
令和4年2月7日	25	5																								
令和4年4月4日	35	7																								
令和4年8月8日	45	9																								
<p>2.国産豚</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 2月の全国豚と畜頭数は、1,375千頭と前年を上回った(前年比104.8%)。 地域別と畜頭数(数値は前年同月比);北海道101.7%、東北104.0%、関東107.0%、北陸甲信越102.0%、東海105.1%、近畿108.0%、中四国102.8%、九州・沖縄104.8% ○ 3月の全国と畜頭数は、1,359千頭(速報値3月31日まで集計、前年比92.5%)と前年を下回る見込みとなった。 なお、稼働日数は昨年より2日少なく、1日当たりの平均と畜頭数は67,950頭(前年実績:67,591頭/日、前年差+359頭/日)となった。 ○ 肉豚生産出荷予測(農水省食肉鶏卵課;3月21日付け)によると、4月;1,430千頭(前年比108%)、5月;1,330千頭(同97%)、6月;1,307千頭(同98%)、7月;1,297千頭(同104%)、8月;1,297千頭(同100%)であり、今後5か月間の合計頭数は前年比約101%と前年を上回る見込み。 ○ 需給動向：CVS、外食チェーン、惣菜会社等のニーズは相変わらず堅調だが、価格は落ち着き始めている。 タン、ハラミ等の通年商材の需要は継続して底堅く、加えて加工品需要の増加によりガツ、頭肉が好調であった。 	<p>2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年3月11日</td> <td>35</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>令和3年4月19日</td> <td>25</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>令和3年10月15日</td> <td>35</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>令和4年2月1日</td> <td>25</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>令和4年3月28日</td> <td>35</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>令和4年8月1日</td> <td>45</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和3年3月11日	35	4	令和3年4月19日	25	3	令和3年10月15日	35	4	令和4年2月1日	25	4	令和4年3月28日	35	4	令和4年8月1日	45	5				
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																								
令和3年3月11日	35	4																								
令和3年4月19日	25	3																								
令和3年10月15日	35	4																								
令和4年2月1日	25	4																								
令和4年3月28日	35	4																								
令和4年8月1日	45	5																								
<p>3.輸入牛</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 2月の輸入通関実績は、全体で31.0千トﾝと前年を下回った(前年比81.6%、前月比71.7%)。 内訳ではチルド:12.5千トﾝ(前年比94.0%、前月比73.8%)、フローズン:18.5千トﾝ(前年比75.0%、前月比70.3%)となった。 輸入相手国別では、チルドは豪州、カナダ、ニュージーランドが増加したが、米国、メキシコは減少した。フローズンは輸入国全てで減少したが、米国の減少が顕著だった。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、チルドは、現地相場の高騰等により、米国産の減少が見込まれることから、3月、4月ともに前年同月を下回ると見込んでいる。フローズンも同様の傾向であり、3月は前年同月を下回ると見込まれ、4月は米国以外の主要国を含めた輸入先からの輸入量が少ないことから下回ると見込んでいる。3か月平均でも、チルド、フローズンともに下回ると見込んでいる。 令和6年 3月 合計:32.7千トﾝ(前年比88.9%)、チルド:16.0千トﾝ(同90.1%)、フローズン:16.7千トﾝ(同88.0%) 令和6年 4月 合計:44.1千トﾝ(前年比64.9%)、チルド:17.0千トﾝ(同80.6%)、フローズン:27.1千トﾝ(同57.9%) ○ 輸入牛内臓実績(令和6年2月):牛腸(冷凍);1,081.9トﾝ(前年比115.1%・前月比85.3%) 国別実績;米国830.2トﾝ、カナダ98.8トﾝ、メキシコ98.1トﾝ、豪州53.9トﾝ、パナマ0.6トﾝ、ニカラグア0.4トﾝ 牛レバー(冷凍);88.4トﾝ(前年比116.7%・前月比162.1%) 国別実績;米国68.7トﾝ、豪州13.9トﾝ、メキシコ5.8トﾝ 	<p>3.東京市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和牛)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年7月22日</td> <td>700</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和2年3月16日</td> <td>500</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和2年6月15日</td> <td>100</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和2年7月20日</td> <td>100</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>令和2年9月28日</td> <td>10</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>令和3年5月24日</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和5年10月16日</td> <td>10</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	令和元年7月22日	700	10	令和2年3月16日	500	10	令和2年6月15日	100	10	令和2年7月20日	100	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年5月24日	10	10	令和5年10月16日	10	2	
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																								
令和元年7月22日	700	10																								
令和2年3月16日	500	10																								
令和2年6月15日	100	10																								
令和2年7月20日	100	2																								
令和2年9月28日	10	2																								
令和3年5月24日	10	10																								
令和5年10月16日	10	2																								
原皮	<p>1.牛原皮</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 輸出実績(令和6年2月):34,168枚(前年比92.6%、前月比80.1%) 国別実績;タイ28,288枚(前年比129.7%)、韓国3,400枚(同37.3%)、ベトナム2,480枚(同83.2%) 輸出平均価格(令和6年2月):2,429円/枚(前年差+238円、前月差△88円) ○ 輸入実績(令和6年2月):牛大判皮14,496枚(前年比61.3%、前月比47.6%)、ウェットブルー14,258枚※(同133.5%、同100.5%) ※4.4㎡/枚で計算 輸入平均価格(令和6年2月):牛大判皮8,750円/枚(前年差+974円、前月差+553円)、ウェットブルー10,919円/枚(同+2939円、同+1,555円) ○ 海外情勢：天然皮革マーケットは依然として不況下にあり、レザーショーにおいても活発な取引は行われず、マーケットが上向く兆しは見られない。 ○ 国内情勢：皮革製品需要の減少やタンナーの人手不足等により国内産皮革の流通量が落ち込んでおり、品質低級原皮の荷動きが非常に悪い。 	<p>4.大阪市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和ヌキ)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年8月15日</td> <td>1,000</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和2年3月16日</td> <td>800</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和2年6月22日</td> <td>300</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和2年7月27日</td> <td>300</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>令和2年9月28日</td> <td>10</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>令和3年6月1日</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和5年10月23日</td> <td>10</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮	令和元年8月15日	1,000	10	令和2年3月16日	800	10	令和2年6月22日	300	10	令和2年7月27日	300	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年6月1日	10	10	令和5年10月23日	10	2
	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮																							
令和元年8月15日	1,000	10																								
令和2年3月16日	800	10																								
令和2年6月22日	300	10																								
令和2年7月27日	300	2																								
令和2年9月28日	10	2																								
令和3年6月1日	10	10																								
令和5年10月23日	10	2																								
<p>2.豚原皮</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 輸出実績(令和6年2月):1,056,428枚(前年比95.3%、前月比113.4%) 国別実績;タイ816,248枚(前年比110.3%)、カンボジア141,900枚(同95.0%)、ベトナム59,800枚(同33.2%)、韓国38,480枚(同98.4%) 輸出平均価格(令和6年2月):338円/枚(前年差△2円、前月差±0円) ○ 需給動向：春になり需要期に入り、回復すると見込まれていたが、発注量は少なく、底値から少し脱した程度の取引となっている。 傷・穴あきがあるB級品は海外タンナーからの需要が乏しいため、と畜場は傷等がつかないよう品質管理を徹底する必要がある。 																										
レンダリング	<p>1.油脂等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国産食用加工油脂向け価格(3月渡し):牛脂145円/kg(前年差△30円、前月差±0円)、豚脂155円/kg(同△20円、同±0円) 牛脂は、一時需要の引き締めが見られたものの、カレールーの動きが低調であることに起因して現状は緩みがちで推移。 豚脂は、純製から調製ロードシフトによる消費量減少に加え、と畜頭数増加により生産量が增加。一部メーカーでは在庫の積み上がりが目立ってきている。 ○ マレーシア産パーム油相場(2月):162円/kg(前年差+3円、前月差+17円) 2月生産量は126万トン(前月比89.8%)、輸出量は102万トン(同75.3%)、月末在庫は192万トン(同95.0%)となった。 パームツリーの高齢化、減産期による在庫量減少に伴い相場が上昇。バイオ燃料需要による引き合いも強く、今後も底堅い展開が予想される。 ○ 関東飼料用油脂(3月):124円/kg(前年差△20円、前月差±0円) ○ 工業用油脂(3月):95円/kg(前年差△20円、前月差±0円) ○ UCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格(3月):123円~126円/kgあたり(前年差△20円、前月差±0円) 	<p>5.食用加工油脂価格 単位:円/kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛脂</th> <th>豚脂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年3月1日</td> <td>155</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>令和4年4月1日</td> <td>175</td> <td>170</td> </tr> <tr> <td>令和4年7月1日</td> <td>195</td> <td>190</td> </tr> <tr> <td>令和5年1月1日</td> <td>175</td> <td>175</td> </tr> <tr> <td>令和5年4月1日</td> <td>165</td> <td>175</td> </tr> <tr> <td>令和5年7月1日</td> <td>155</td> <td>165</td> </tr> <tr> <td>令和5年10月1日</td> <td>145</td> <td>155</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛脂	豚脂	令和4年3月1日	155	150	令和4年4月1日	175	170	令和4年7月1日	195	190	令和5年1月1日	175	175	令和5年4月1日	165	175	令和5年7月1日	155	165	令和5年10月1日	145	155
価格改定年月日	牛脂	豚脂																								
令和4年3月1日	155	150																								
令和4年4月1日	175	170																								
令和4年7月1日	195	190																								
令和5年1月1日	175	175																								
令和5年4月1日	165	175																								
令和5年7月1日	155	165																								
令和5年10月1日	145	155																								